

別記様式第9号

甘味資源作物安定生産体制緊急確立事業に関する事業評価票

| 事業名 | 都道府県 地区名 | 事業実施 主体名 | 対象作物 等 | 事業実施 年度 | 成果目標の 具体的な内容 | 成果目標の達成状況 | | | | 具体的な取組内容 | 基金管理団体の意見 | |
|-----|-------------------------------|-------------|-----------------------|------------|-----------------|--------------------------------|--------------|--------------|---------|----------|--|---|
| | | | | | | 基準年 (計画策定時) 平成24～ 25年 | 目標値 平成28年 | 実績値 平成30年 | 達成率 | | | |
| 1 | さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 中種子町 中種子 | 公益財団法人 種子島 農業公社 | さとうきび | 26年度 | 10a当たりの労働時間を削減 (hr/10a) | 16.6hr | 11.4hr | 14.5hr | 41% | ハーベスタ (MCH-15WE2) 収納袋41枚 | ハーベスタの導入により、収穫作業の省力化が図られたものの、受託ほ場の分散に起因する移動時間の増加が要因となり、成果目標は未達成となった。車両運搬車の活用や受託組合での受託ほ場の調整を行うなど、労働時間削減に向けた取組を実施していく必要がある。 |
| 2 | さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 南種子町 島間 | 横峯中央さとうきび生産組合 | さとうきび | 26年度 | 10a当たりの収量を増加 (t/10a) | 7.360トン | 7.800トン | 3.780トン | -814% | ハーベスタ (HC-51K) 収納袋50枚 | ハーベスタの導入により、収穫作業の効率化が図られ、労働時間を削減をしたことで、適期作業が可能となった。しかし、台風襲来による甚大な被害の影響で収量が上がりず、目標は未達成となった。今後とも導入機械を活用することで効率的な栽培体系を確立し、目標達成に向けた取組を継続していく必要がある。 |
| 3 | さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 南種子町 西之 | 安久保さとうきび生産 組合 | さとうきび | 26年度 | 10a当たりの収量を増加 (t/10a) | 6.350トン | 7.000トン | 3.820トン | -389% | トラクター (44ps) , ロー タリー | トラクター及びロータリーの導入により、耕耘・整地作業の効率化が図られ、適期の株出管理作業が可能となった。しかし、収穫後の萌芽不良が多く、廃耕にするほ場が増えたことで株出栽培の割合は減少し、台風の影響により収量も増加しなかった。今後とも導入機械を活用することにより適期管理作業に努めるなど、目標達成に向けた取組を実施していく必要がある。 |
| | | | | | | 株出栽培の割合を増加 (%) | 77.2% | 81.3% | 64.2% | -317% | | |
| 4 | さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 南種子町 長谷 | 株式会社 南種子精脱 業 | さとうきび | 26年度 | 10a当たりの収量を増加 (t/10a) | 6.453トン | 7.500トン | 4.630トン | -173% | トラクタ (99ps) , ロー タリー, プラソイラー, プ ロードキャスター, ハイ ドロブッシュ | 大型機械導入により、作業効率を上げ、今まで遅れていた適期作業が可能となり、株出割合を増加させることができた。しかし、収穫後の萌芽不良により収量は上がりなかった。今後とも導入機械を活用することにより土作りや適期管理作業に努めるなど、目標達成に向けた取組を実施していく必要がある。 |
| 5 | さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 喜界町塩 道 | 塩道さとうきび生産組 合 | さとうきび | 26年度 | 株出栽培の割合を増加 (%) | 69.0% | 77.0% | 69.8% | 10% | ハーベスタ (HC-40) , 収納袋42枚 | ハーベスタの導入により、収穫作業の効率化が図られ、労働時間を削減したことで、適期の株出管理作業が可能となったが、台風の影響で新植をせざるを得なかったため、目標は未達成となった。今後は、新植した農地の管理を適切に行うなど、株出栽培面積拡大に向けた取組を実施していく必要がある。 |
| 6 | さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 徳之島町 徳和瀬 | 徳和瀬上木野さとうき び営農改善組合 | さとうきび | 26年度 | 10a当たりの収量を増加 (t/10a) | 5.185トン | 5.703トン | 4.422トン | -147% | ハーベスタ (MCH- 15WE2) , 収納袋30枚, 全蓋式植付機 | ハーベスタ及び植付機の導入により、適期収穫・植付が可能となったが、台風の影響により収量は減少し、成果目標は未達成となった。引き続き適期収穫・植付を継続するとともに、機械化により削減できた時間を活用し、適期管理作業を徹底するなど、更なる収量増加に向けた取組を実施していく必要がある。 |

別記様式第9号

甘味資源作物安定生産体制緊急確立事業に関する事業評価票

| 事業名 | 都道府県 名 地区名 | 事業実施 主体名 | 対象作物 等 | 事業実施 年度 | 成果目標の 具体的な内容 | 成果目標の達成状況 | | | | 具体的な取組内容 | 基金管理団体の意見 |
|------------------------------------|------------------|-------------------|-----------|----------------|-----------------------------|--------------------------------|--------------|--------------|------|--|---|
| | | | | | | 基準年 (計画策定時) 平成24～ 25年 | 目標値 平成28年 | 実績値 平成30年 | 達成率 | | |
| 7 さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 伊仙町伊 仙 | 西伊仙西さとうきび生 産組合 | さとうきび | 26年度 | 株出栽培の割合を増加 (%) | 69.4% | 76.4% | 68.7% | -10% | トラクター (53ps) , ロー タリー, 中耕ロータリー | ホイールトラクター、ロータリー、カルチロータリーを導入することにより、耕起、中耕、培土作業が機械化され、従来の作業体系では実現できなかった適期での植付作業及び管理作業が可能となったが、株出ほ場において、発芽率の悪さから植え替えを余儀なくされたため、株出栽培面積割合増加の成果目標は未達となった。引き続き導入機械を活用し、適期管理作業を徹底するなど、株出栽培面積拡大に向けた取組を実施していく必要がある。 |
| 8 さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 伊仙町 西阿三 | 有限会社 大竹興産 | さとうきび | 27年度 (26繰越) | 10a当たりの労働時間を削 減 (hr/10a) | 34.1hr | 29.0hr | 17.8hr | 320% | 乗用管理機 (防除機) (M C C S 8 型) | 乗用管理機 (防除機) の導入により、防除作業を機械化することができ、労働時間の短縮につながり、成果目標は達成となった。引き続き、より一層の機械の効率的利用及び作業計画の着実な実行に努める必要がある。 |
| 9 さとうきび 農業機械等 リース支援 事業 | 知名町下 城 | 下城さとうきび増産組 合 | さとうきび | 26年度 | 10a当たりの収量を増加 (t/10a) | 4.140トン | 4.810トン | 4.100トン | -6% | トラクター (ロータリー付き) (18.5ps) , 施肥機, 全茎 式植付機, 補植開溝機 | トラクター、施肥機、全茎式植付機、補植開溝機の導入により、中耕、培土、植付の機械化が図られ、適期作業が図られた。しかし、10a当たりの収量増加の成果目標が未達成となった要因は、台風による折損被害である。引き続き、適期の防除作業を徹底するなど、成果目標達成に向けた取組を実施していく必要がある。 |